



木材総合展示会「木と住まいの大博覧会」〔後援：林野庁・愛知県・長野県・岐阜県〕 **入場無料**  
**木を用いた住まいや暮らし、建築物の最新情報を一挙に発信**

6月24日（土）・25日（日）ポートメッセなごや 「住まいの耐震博覧会」を同時開催

◆ ニュースポイント ◆

ナイス株式会社（社長：平田 恒一郎、本社：神奈川県横浜市）は、6月24日（土）・25日（日）の2日間、一般社団法人 木と住まい研究協会及び一般財団法人 木構造建築研究所との共催で「木と住まいの大博覧会」をポートメッセなごやで開催いたします。

「木と住まいの大博覧会」は、構造材や内外装に木材を使った住宅をはじめ、中・大規模木造建築物から木製品、木育、学術研究まで、木に関する最新の製品・技術・情報をふんだんに紹介いたします。人を健やかで幸せにする木の力を五感で体感しながら、一般ユーザーからプロユーザーまで木について学び親しんでいただける木材総合展示会です。



多くの来場者で賑わった昨年の会場

## 資源循環型社会の構築に向けて

日本は、国土面積3,780万ヘクタールのうち森林面積は2,508万ヘクタールと、国土のおよそ66%を森林が占めるという世界有数の森林国です。現在の森林蓄積は50億m<sup>3</sup>に達し、年間で1億m<sup>3</sup>が増加しています。森林は木材の供給だけでなく、水を育んだり、様々な生物を守り育てたり、二酸化炭素を吸収するなど様々な恵みをもたらしてくれます。こうした森林の恩恵を将来にわたり受け取るためには、「伐って、使って、植えて、育てる」という木材資源の循環利用により適切な森林整備を進めることが大切です。こうした考えから国は木の良さや木を利用することの大切さを広く周知し、暮らしの中に国産材製品を取り入れて、森林を育てる「木づかい運動」を展開しています。

「木と住まいの大博覧会」では、暮らしに木を取り入れた循環型社会の構築に向けて、住宅や木造建築物をはじめ構造材や内外装材、家具や木工品まで、一般ユーザーからプロユーザーまで幅広く木のある住まいや暮らしを提案します。

## ◆国内外の優良な木材が一堂に介し、木のある暮らしをご提案

会場には国内外の多彩な銘木や樹種が勢ぞろいし、様々な木造躯体が立ち並び、都市の中での森林をイメージした展示がされます。構造材や羽柄材、造作材、家具材などをはじめ棚やテーブル、ベッドなどのインテリア家具、食器、木から抽出した木の香りがする自然塗料といった木材製品までバラエティ豊かに紹介します。

「木のソムリエ」ブースでは、スギやヒノキを中心に、木が本来持つ調湿力や保温力、香りがもたらすリラックス効果など木の特長についてふれて、体感しながら楽しく学ぶことができます。暮らしへの具体的な取り入れ方についても、スギやヒノキ、カラマツなどを用いたリビングや寝室などに無垢材の家具を配置したインテリア空間や、木曽川流域材を多彩に用いた内外装空間、ウッドデッキや木のフェンスを設置しエクステリア空間を提案します。

神代スギと呼ばれる、およそ2,500年前の噴火により火山灰で地中深くに埋没した推定樹齢1,500年以上のスギの長さ7メートル、幅2メートルに及ぶ巨大な板材を名古屋で初めて展示します。



木曽川流域材を多彩に加工した内外装の提案



推定樹齢1,500年以上の神代スギ

## ◆注目高まる中・大規模木造建築を幅広く紹介

学校や園舎、病院、老人ホーム、店舗など幅広い分野でニーズが高まる中・大規模建築物における木造化や木質化については、ナイスグループオリジナルの金物接合による在来軸組工法のパワービルド工法をはじめ木と鉄の複合梁のテクノストラクチャー工法、トラス工法、CLT（直交集成板）工法などを紹介します。

会場では、東日本大震災の津波により壊滅的な被害を受け、建築家の隈研吾氏のランドデザインにより市街地再生が進む宮城県南三陸町において、隈研吾氏の設計でナイスグループが施工に携わった「さんさん商店街」の実物大構造躯体を展示します。

そのほか、新素材として注目が高まるCLTについても、日本初となるCLTと鉄筋コンクリート造の平面混構造で建築したナイス仙台事務所棟を紹介します。



大きな軒ひさが特長的な宮城県南三陸町の「さんさん商店街」の実物大躯体を展示

## ◆自治体や大学の最新の取り組みを紹介

愛知県や長野県、岐阜県、徳島県など4自治体が出展し、各々の良質な地域産木材を紹介します。産地や樹種ごとに特性や持ち味が異なる木材の適材適所の活用法など、地域の木材を取り入れた家づくりや暮らしをご提案します。

また、名古屋大学や岐阜大学、静岡大学、三重大学などによる最新の研究を展示します。



昨年の愛知県ブース

## 中部エリアの大学が出展し、木に関する研究の最先端情報を紹介します

大学名	研究室	研究者	研究テーマ
名古屋大学 農学部	森林化学研究室	福島 和彦 教授	・細胞壁の生合成（リグニン生合成） ・リグニン化学構造解析
	生物材料工学研究室	佐々木 康寿 教授 山崎 真理子 准教授	・木材の力学物性の解明 ・木質構造要素の性能 ・快適居住空間の創生 ・木質資源の循環利用
岐阜大学 応用生物学科	天然物利用化学研究室	光 永 徹 教授	・木材の香り成分の健康科学 ・タンニンの構造と生理機能発現 ・熱帯薬用樹木抽出成分を用いた機能性化粧品素材開発
静岡大学 農学部	木質バイオマス利用学研究室	鈴木 滋彦 教授 小島 陽一 准教授	・木質ボード製造 ・セルロースナノファイバーを利用した木質材料の開発 ・WPC ・木質パネルの耐久性評価
	住環境構造学研究室	安村 基 教授 小林 研治 准教授	・CLTによる建築物の耐震性能評価と設計法の検討 ・木質耐力壁の仮動的実験と応答解析モデルの検討 ・木造建築の環境負荷および快適性に関する調査
三重大学 生物資源学科	資源循環学専攻 森林資源環境学講座	野中 寛 准教授	・バイオマス変換、超臨界流体 ・水熱反応、化学工学
		内迫 貴幸 助教	・木質構造 ・木質材料学

## ◆木曽川流域の良質な木材をパッケージ化して提案

長野県、岐阜県、愛知県、三重県を流れる木曽川の流域で育まれた良質な木材を「木曽川流域材」という一つのブランドとして提唱し、流域圏のつながりを意識した地産地消の家づくりを提案します。

関連事業者が連携し流域材を活用してパッケージ化した「木曽川流域のつながる家」を2階建ての実物大構造躯体で紹介します。



木曽川流域材をパッケージ化した  
2階建ての構造躯体

## ◆子どもから大人まで親子で木とふれ合う「木育コーナー」

子どもの心身の発達に良いとされる「木育」コーナーでは、木とふれ合っ  
て遊ぶことで子どもの力を引き出す、優しい手ざわりの国産の木材を使った  
おもちゃが勢ぞろいします。

本物の木材を使い大工さんのお仕事を体験するコーナーも設けられます。



親子で木とふれ合える「木育コーナー」

## ◆ウッドデザイン賞の特設ブース、特別セミナーを開催

木のある豊かな暮らしを普及・発展させて日々の生活や社会を彩りながら  
木材利用を促進することを目的とする「ウッドデザイン賞」の紹介コーナー  
を設け、受賞作品の紹介などを行います。

25日(日)には、(株)ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役社長の高  
橋義則氏と「ウッドデザイン賞 2016」で優秀賞を受賞した(株)新和建設による  
特別セミナー『「ウッドデザイン賞」を活かした、工務店のマーケティング  
戦略～地域材利用を“強み”とし顕在化し、ブランディングに繋ぐ～』と題  
した特別セミナーを開催するほか、「ウッドデザイン賞 2017」に向けた相談  
会を開催します。



「ウッドデザイン賞 2016」の受賞作を紹介

### ■特別セミナー

#### 『「ウッドデザイン賞」を活かした、工務店のマーケティング戦略 ～地域材利用を“強み”とし顕在化し、ブランディングに繋ぐ～』

- (1) 趣 旨： 「ウッドデザイン賞」の受賞作品等の特色や傾向と、2017年  
度の応募要綱をご紹介すると共に、「ウッドデザイン賞」  
の受賞を契機に、社内外のコミュニケーション戦略に「ウ  
ッドデザイン賞」を位置付け、新たな顧客の拡大や成約率  
の向上にも役立っている受賞団体によるプレゼンテーショ  
ンとディスカッションを行います。
- (2) 日 時： 2017年6月25日(日) 15:00～15:45
- (3) 場 所： 「ポートメッセなごや」第2展示館「木と住まい研究協会」セミナースペース
- (4) 定 員： 40名
- (5) 内 容： ① 「ウッドデザイン賞」2016年度受賞作品と2017年度公募の概要について  
高橋 義則氏 (株)ユニバーサルデザイン総合研究所 代表取締役社長/ウッドデザイン賞運営事務局  
② 「大工と組む、わが家再生」(「ウッドデザイン賞 2016」優秀賞受賞 (株)新和建設)
- (6) 参加費： 無料
- (7) 申 込： 申し込みフォームからお申し込みいただくか、当日会場にお越し下さい。  
[申し込みフォーム] <https://www.758taishin.com/event/>



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2017

◆住まいや暮らしに役立つシンポジウム、セミナーを開催（要予約）

総合シンポジウム

6月24日（土）会場：第3展示館メインステージ（住まいの耐震博覧会 会場）

時 間	ジャンル	シンポジウム内容・パネリスト
13:00~14:00	木の魅力 建 築 環 境 防 災 健 康	『健康に暮らせる住まいと木の魅力』 ◆東京大学 名誉教授 （一社）木と住まい研究協会 代表理事 有馬 孝禮氏 ◆慶応義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 伊香賀 俊治氏 ◆国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材加工・特性研究領域 チーム長 杉山 真樹氏 ◆株式会社広和木材 代表取締役社長 倉野 仁氏

住まいと木の特別セミナー

6月24日（土）会場：第2展示館セミナーコーナー

時 間	ジャンル	講 演 内 容
11:00~11:45	木の魅力	『人の快適性に及ぼす木材の影響について』 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材加工・特性研究領域 チーム長 杉山 真樹氏
14:15~15:00	健康・環境	『幼児から高齢者まで健康に過ごせる暖かな木の住まい』 慶応義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授 伊香賀 俊治氏
15:15~16:00	建築・環境	『文化・環境からみた木造建築 最近の動向』 静岡大学 学術院農学領域 生物資源科学科 木質科学コース 安村 基氏

6月25日（日）会場：第2展示館セミナーコーナー

時 間	ジャンル	講 演 内 容
11:00~11:45	建築・防災	『熊本地震が警告する住宅耐震化の盲点』 国立大学法人 名古屋工業大学大学院 教授 名古屋工業大学 高度防災工学センター長 井戸田 秀樹氏
13:00~13:45	環境・建築	『健康快適な住まい方を考える』 東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 准教授 前 真之氏
14:00~14:45	木の魅力	『樹木香気成分が生理・心理に及ぼす影響と、健康科学への貢献』 岐阜大学 応用生物科学部 天然物利用化学研究室 教授 光永 徹氏

ご予約及びお問い合わせは：03-3568-3714 （一社）木と住まい研究協会

◆開催概要◆

名 称：木と住まいの大博覧会

日 時：6月24日（土）10:00~17:00

6月25日（日）10:00~16:00

入場料：無料

会 場：ポートメッセなごや第2展示館

共 催：（一社）木と住まい研究協会、（一財）木構造建築研究所、ナイス株式会社

出 展：木材事業者、自治体、学術機関約50社・団体

後 援：林野庁、愛知県、長野県、岐阜県、（公社）国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進会議

（一社）全国木材組合連合会、全国森林組合連合会、（一社）日本木材学会

（公社）日本木材加工技術協会、（公社）日本木材保存協会、（公社）日本建築士会連合会

（一社）日本建築士事務所協会連合会、（一財）日本木材総合情報センター

ナイスパートナー会連合会、素適木材倶楽部、（一財）強靱な理想の住宅を創る会

NPO法人住まいの構造改革推進協会、木曾川流域木と水の循環システム協議会

ホームページ：http://www.nicefair.com/wood/

この件に関するお問い合わせ先\*\*\*\*\*

ナイス株式会社 広報室 宮川・内野 TEL：(045) 501-5048

〒230-8571 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 ナイスビル8F